

## 追悼 山岸忠雄 教授



### 弔 辞

山岸先生、先生のご逝去を悼み、東海大学政治経済学部および東海大学政治経済学部の教え子を代表致しまして、つつしんでご霊前に告別の辞をささげます。

先生は、5年に渡るアメリカでの留学を終え、電気通信総合研究所の研究員を経て、1978年に東海大学に赴任されました。

大学における先生の担当科目は国際経済学でいらっしゃいましたが、研究では情報通信における経済側面の考察を中心テーマとされていらっしゃいました。とりわけ発展途上国における情報通信インフラ整備に経済学者として多大な貢献をされました。その範囲は、インドネシア、タイ、ベトナム、ラオス、ウズベキスタン、トルクメニスタン等広範であり、先生のご活躍と関心の広さが伺われます。また、私立大学情報教育協会においても教育機関における情報教育開発・普及促進に関して多大な貢献をなされました。

在職中は、教育・研究以外においても学部・学科における各種の委員、とりわけ経済学科の主任および大学院経済学研究科の主任をお務め頂き、学部・学科運営においても多大な功績を残されました。

しかし、先生がもっともそのお力を発揮されたのは、学生の教育でありましょう。学部・大学院における熱心な指導振りは、なによりもその温かいお人柄によって多くの学生たちに慕われるものでした。お通夜に多くの教え子がかけつけ、涙を流し、お焼香の後

小中山 彰

も最後まで残って、先生のお顔を拝見したいという姿を見て、私も胸が熱くなりました。育てられた学生達もいつまでも先生を忘れずに、社会で活躍してくれることでしょう。

山岸先生、今ただ、感謝の気持ちを込めて、謹んでお別れを申し上げるだけです。先生、どうぞ、安らかにお眠り下さい。そして先生の東海大学政治経済学部とそこから育ちました沢山の教え子の将来を見守って下さい。先生の御霊のご冥福を心からお祈りし、弔辞とさせていただきます。

平成20年1月18日

東海大学政治経済学部  
学部長 小中山 彰

## 山岸忠雄教授略歴

1945年10月15日生

### 【学 歴】

1968年 3月 国際基督教大学教養学部社会科学科卒業

1970年 3月 国際基督教大学大学院一般行政研究科修士課程修了

1972年10月 State University of New York at Buffalo 大学院経済学博士課程修了

### 【職 歴】

1968年 4月 国際基督教大学大学院生非常勤助手

1971年 6月 State University of New York at Buffalo 大学院生非常勤助手

1974年 9月 Tuskegee Institute 経済学部助教授

1975年11月 財団法人電気通信総合研究所専任研究員

1976年 4月 埼玉大学教養学部非常勤講師

1977年 4月 東海大学政治経済学部非常勤講師

1977年 6月 埼玉大学行動科学情報解析センター客員研究員

1978年 4月 東海大学政治経済学部専任講師

1982年 4月 同 助教授

1987年 4月 同 教授

1998年 4月～2002年 3月 政治経済学部経済学科主任

1998年4月～2000年3月 経済学研究科応用経済学専攻主任

2004年4月～2006年3月 経済学研究科応用経済学専攻主任

【学会ならびに社会における活動等】

日本経済学会

国際公共経済学会

財団法人情報通信学会

社団法人私立大学情報教育協会経済学教育FD/IT活用研究委員会委員長

【研究業績】

「公共事業における新しい料金体系の研究」, 「家計における通信の価格弾力性の測定」,  
「情報の流れと消費支出の関連分析」, 「A survey on development projects assisted by  
Japanese agencies」, 「電源立地の地域経済社会に及ぼす影響の分析」, 「地方電話普及シ  
ステムの比較——コスト・ベネフィット分析 (翻訳)」, 「省エネルギー時代の選択 (翻  
訳)」他多数